

外科医が取り組む 薬局改革

～日本在宅薬学会活動レポート～(1)



◆狭間研至
昭和44年大阪生まれ。平成7年大阪大学医学部卒業後、同付属病院、大阪府立病院(現大阪府立急性期総合医療センター)などを経て、12年大阪大学大学院医学系研究科臓器制御外科(博士課程)に入学し、16年同課程修了。医師・医学博士・外科専門医。呼吸器外科専門医。15年4月から「ハザマ薬局」を運営するファルメディコ(株)代表取締役就任し、実家の薬局経営を受け継ぎ形で医師の立場からの意欲的な薬局経営に乗り出すとともに、20年4月には有限中間責任法人「薬剤師あゆみの会」理事長も務めるなど多方面で精力的に活躍中。



受講者は飛躍的に伸び今後さらなる広がりも

「薬剤師は人の体を...」
「薬剤師は人の体を...」
「薬剤師は人の体を...」

バイタルサインは「U」のツールでしかない
この3年ほどの間、私学へ必ず理解・習得が本会での活動も通じていることができます。いわゆる「都市伝説」もあいいい「都市伝説」もあいいい「都市伝説」もあいいい

バイタルサインの次にくるもの
9月29日に私自身47回外にも様々な形でバイタルサインやフィジカルアセスメントに関する講習を大阪で開催しました。現在7名のディレクターが誕生し、それぞれ

「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」

薬剤師のバイタルサインへの流れ
本会の活動は、もともとの主催でバイタルサインをいかにシステムティックに、そして準公的に進めていけばよいのかと最初の講習会を開催した

「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」

「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」

はじめに
研究会は、日本在宅薬学会と名称と組織体制を変更したとあり、一般社団法人在宅薬学会としてお伝えたいと思います。

「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」

「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」
「薬剤師ならではの知識を駆使して、...」

現役外科医が、医療の現場での体験と薬局経営者としての視点から提言する新しい医療のあり方——在宅医療への先進的な取り組みで注目をあつめる著者が、薬局・薬剤師職能のさらなる可能性への思いをつづる「原点の一冊」。

外科医、薬局に帰る
[改訂第二版] 超高齢社会における新しい医療環境を目指して

[著] 狭間研至
医師・医学博士
ファルメディコ株式会社 代表取締役社長
一般社団法人在宅薬学会 理事長

B6判 88頁 定価800円(税込)

発行：株式会社 薬局新聞社
本書のお求めは... 書籍係 Tel.03-3663-1921
http://www.yakkyoku-shimbun.co.jp/

